

パーキンソン病の患者様へ

前略 悲しいお報せをせねばなりません。

島史雄先生が平成 27 年 1 月 12 日肝不全で逝去されました。先生は、昨年 10 月より入退院を繰り返しながら、最期まで診療再開を目指して治療を受けておりましたが、その願いも叶わず無念な結果となりました。

ご逝去前日にお見舞いをしました折は、すでに意識はなく、言葉はお聞き届け頂けないと思いつつも、クリニック一同が留守を守っていることのご報告と先生の御回復を祈っていることをお伝えしました。すると驚くべきことに「DBS は大切な治療法である・・・」「患者さんがすべてです」と、目を閉じたままながら、明確に傍のご家族にも聞こえる程の声で返答されました。そしてその後は全く何の応答もなく翌日お亡くなりになりました。

当医療法人は、島先生の高邁な医療哲学と高度技術を及ばずながら引き継ぎ、皆様のお役に立てる医療を目指す事を覚悟致しました。その為に島先生の高弟でいらっしゃる大原信司先生（九大・医 平成 5 年卒・脳神経外科）や大学病院（神経内科）の応援のもと、パーキンソン病外来を今後も継続し、皆様に安心して通院して頂けるよう精進して参る所存です。

草々

平成 27 年 1 月

医療法人社団ブックス BOOCS クリニック福岡

理事長 藤野 武彦

院長 斉藤 和之